

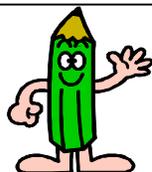


カンムリウミスズメ

門川町教育研究所

# ふれあい

平成22年6月 NO2  
発行 門川町教育研究所  
所長 斉藤 義輝  
TEL 63-1566  
五十鈴小学校内(教育相談室)



## 本年度研究テーマ

**伸ばす学力、ひろく未来、かどがわ“学び”の創造**  
～ 学力向上<sup>ツ</sup>2プランを生かした学習指導を通して ～

教育研究所は本年度、「伸ばす学力、ひろく未来、かどがわ“学び”の創造」をめざして研究に取り組みます。子どもの豊かな未来をきりひろくするためには、確かな学力を伸ばすことが必要です。そのために、門川らしい「学び」をつくりあげたいと思います。そして、この目標を達成するために「学力向上<sup>ツ</sup>2プラン」を生かした学習指導の研究や実践に取り組んでいきたいと思っています。

教育研究所は、「学力向上<sup>ツ</sup>2プラン」の研究・実践に、学校や関係組織と力を合わせて取り組み、その成果を学校や家庭、地域に情報発信していきたいと思っています。



学力向上<sup>ツ</sup>2プランとは、一つは「学習の定着確認と習熟度に応じた指導で学力を伸ばす」、もう一つは「ドリル学習で鍛えて学力を伸ばす」と言うことです。

### プラン1

**学習の定着確認と習熟度に応じた指導で学力を伸ばします。**

#### 学習の定着確認では

子ども一人一人が、何がわかって何がわかっていないのかをしっかりと確認するための工夫について研究します。小テストや机間指導（一人一人を回って指導する）などを工夫して授業に生かします。

#### 習熟度に応じた指導では

子ども一人一人の学習の進みぐあいにあった指導の工夫について研究します。遅れがちな子どもには基本が身につくように、進んでいる子どもにはさらに考えを深めるような指導方法を研究して授業に生かします。

### プラン2

**ドリル学習で鍛えて学力を伸ばします。**



#### ドリル学習の確実な実施では

一日や一週間の学校生活の中にドリル学習の時間をつくり、確実に繰り返し学習する工夫について研究します。朝や業間、授業のはじめや下校前など、ドリル学習を確実に実施するための工夫に取り組み、指導に生かします。

#### 効果的なドリル学習では

子どもが、「できるようになった」「やってよかった」と実感できるドリル学習の工夫について研究します。学年にふさわしいドリル問題や効果的なドリル学習の進め方を工夫して指導に生かします。

# 門川町の子どもたちの学力向上をめざして！

(門川町教育研究所は、学力向上のための情報発信や提言を行っています。)

平成21年度全国学力・学習状況調査  
文科省ホームページから

**生活や学習習慣で、学力とより深く関係することベスト3は、「毎日の朝食」「学校に行く準備」「家で宿題をする」ということがわかりました。(文科省ホームページより)**



これまでの「全国学力・学習状況調査」の結果、生活習慣や学習習慣が学力と深く関係していることがわかっています。その中でも、より深く関係しているのが、「毎日の朝食」「学校に行く準備」「家で宿題をする」の3つだそうです。1学期こそ、この3つの習慣をしっかり育てることが大切です。まずは、子どもの学力向上につながる、大切な3つの習慣づくりに力を入れましょう。

## 毎朝朝食を食べる子

毎朝朝食を食べる子は、

- ・ 勉強をよくする
- ・ 親と話をよくする
- ・ 考え方が前向き

など、多くの生活・学習習慣が身についているそうです。

毎日朝食を食べるだけで勉強ができるようになるわけではありませんが、朝食を食べる習慣が、学習を支える多くのよい習慣のもとになっていることがわかります。

## 学校に行く準備をする子

学校に行く前日、または当日の朝に、学校に持っていく物を確かめるなどの準備をする子は、

- ・ 忘れ物をしない
- ・ 宿題をよくする
- ・ 学校が楽しい

など、学習に関する習慣が身についているそうです。

学校に行く準備をすることで、学習用具だけでなく心も体も準備できるようです。

## 家で宿題をする子

家で学校の宿題をする子は、

- ・ 平日や休日によく勉強をしている
- ・ 学校が楽しい
- ・ 自分に自身をもてる

など、学びに関する意欲、関心が高いそうです。

家で宿題をすることは、勉強の基本ですが、この習慣をつくることで学びに向かう姿勢ができるようです。

## 教育研究所からのアドバイス

門川町教育委員会では、「確かな学力の向上」のためには、何よりも「基礎・基本的な生活習慣の確立」が欠かせないと考え、本年度の最重点施策の一つに取り上げています。基本的な生活習慣が育てば、それだけで学力が身につくわけではありませんが、文科省の情報でも分かるように、基本的な生活習慣が身につくことで、勉強をやり抜く意欲や忍耐力が育ち、「学びに向かう力」を伸ばすことができるのです。このような生活習慣づくりを、家庭教育の合言葉にしましょう。

## 子どもの教育や子育てで、悩んでいませんか？

困った時には、**教育相談室に気軽に電話をしてください。**

相談電話（門川町教育相談室）

63-1566

~~~~返信欄（「ふれあい」への返信がありましたら、担任の先生へお届けください。）~~~~